

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

# 残業代削減分を従業員に還元しましょう

～労働時間(残業)を短くする工夫～



**①** 働き方改革を実施して、徐々にではあるけど、残業時間が減少してきたんだ。だけど、従業員が定着してくれないんだよ。

お困りですね。定着しない原因はなんでしょう。

**②** 残業が減ったら、逆に一部の従業員のモチベーションが下がってね。うちより残業代の稼げる会社に転職してしまったよ。

残業代を生活給の一部と考えていた方のモチベーションが下がってしまったようですね。

**③** たとえば、残業時間の削減と評価を連動させて、業務の効率化に取り組んだ結果、残業が減少した方の賞与を多くする仕組みにすれば、不公平感がなくなり、モチベーションの向上につながるのではないのでしょうか。

**④** 従来の評価制度に加え、残業時間の削減に取り組んだ従業員を評価する仕組みを導入したところ、従業員全体が残業時間削減に向け、努力するようになりました。

## 取組事例紹介

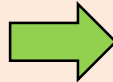
業種：製造業 従業員数：72名

残業時間が減少しない原因のひとつに残業手当を生活給の一部としている従業員が残業時間削減に非協力的であることがあったことから、その不満解消に向け、処遇制度見直しに取り組んだ。

< 残業を削減した従業員を評価する制度の導入 >

○ 賞与規定の見直し

- ・ 残業時間を削減した従業員を評価
- ・ 業務の効率化に取り組んだ従業員を評価



賞与の原資には、残業削減により削減された人件費を活用！

【賞与制度を新設した場合は・・・】

○ 人材確保等支援助成金（雇用管理制度助成コース）  
上限額 最大72万円

◆ 目標達成時の状況により助成額が変化する等、助成金を受給するためには一定の要件があります。

- ・ 残業時間が減ることで収入が減ることを危惧していた従業員も、残業が削減された結果が賞与として反映されることで、積極的に業務の効率化を目指すようになった。
- ・ 残業時間の削減に取り組んだ実績を賞与に反映させることで、企業の思いが従業員に浸透し、経営側と従業員がより一丸となって、働き方改革に取り組む企業風土となった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【平成31年度厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市中種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-552-754

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com